

◎ じゅかぶ

議会広報

平成27年8月発行



新規就農で始められためん羊飼育

No.
142

●第3回 定例会

専決処分

平成26年度各会計補正予算・条例改正など

平成27年度各会計補正予算・財産の無償譲渡など

〈一般質問〉

がん対策の推進を/林業振興対策の充実を

子育てファミリーサポートの設置は

トマム地区の振興を

黒毛和種経営安定化事業の継続を

外国人への窓口対応は

民間賃貸住宅の落雪防止対策を

第3回 定例会

産業振興住宅を減額譲渡

平成27年第3回定例会は、6月18日・19日の2日間開催されました。条例の一部改正や各会計補正予算、財産の減額譲渡などの審議が行われました。最終日には4件の追加議案が提出され、すべて原案どおり可決しました。一般質問では7議員が政策論議を展開しました。

(傍聴 18日1人 19日0人)

平成26年度 補正予算 (専決処分)	
～ 第3回定例会 ～	
一般会計 (第10号) 繰越明許費	3088万7千円
・総務費	1218万8千円
・民生費	164万8千円
・衛生費	134万8千円
・農林業費	336万円
・商工費	1234万8千円
国民健康保険 (第5号) 繰越明許費	100万円
介護保険 (第4号) 繰越明許費	129万9千円
後期高齢者 (第4号) 繰越明許費	70万円
一般会計 (第11号)	6860万円減
総額	28億5380万円⇒27億8520万円
国民健康保険 (第6号)	440万円増
総額	1億5200万円⇒1億5640万円
村立診療所 (第2号)	550万円減
総額	9300万円⇒8750万円
簡易水道 (第4号)	92万円増
総額	2億1680万円⇒2億1772万円
介護保険 (第5号)	480万円減
総額	1億1490万円⇒1億1010万円
後期高齢者 (第5号)	50万円減
総額	1670万円⇒1620万円
歯科診療所 (第1号)	170万円減
総額	2290万円⇒2120万円

〈専決処分の承認〉

平成26年度補正予算

歳入・歳出の確定による補正予算や地域活性化・地域住民生活等緊急支援助交付金等にかかる繰越明許費の確定によるものです。

条例の一部改正等

・ 占冠村税条例の一部改正
軽自動車税の税率特例の適用に伴うものです。

・ 占冠村国民健康保険税条例の一部改正
課税限度額の引き上げ及

条例の一部改正等

び軽減措置の変更に伴うものです。

・ 占冠村保健事業検診受診料徴収条例の一部改正

「子宮頸がん検診」及び「乳がん検診」を無料で受

診できるクーポン券発行対象年齢を追加するものです。

質疑

問 子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診のクーポン発行総数と未受診者の数は。(木村議員)

小尾保健福祉課長 子宮頸がん受診者は72人、クーポン発行数が40枚で利用者は1枚、乳がん受診者は78人、クーポン発行数が51枚で利用者は5枚、大腸がん受診者は122人、クーポン発行数が84枚で利用者は12枚です。

財産の減額譲渡

遊休施設として所有していた産業振興住宅(上トナム・旧上寮)を減額譲渡するものです。

・ C棟、D棟

譲渡先 東京都羽村市

(株)アイデアワークス

目的 従業員宿舎

・ E棟

譲渡先 石狩市(有) 雅

目的 従業員宿舎

質疑

問 この住宅周辺の現況と譲渡先について。(山本議員)

村有リゾート施設 民事調停申立て

田中総務課長

村が所有している施設は事故等がないよう管理し、星野リゾートが所有している施設は、売却するよう要請しています。譲渡先の会社概要は不動産売買、賃貸、管理、労働者派遣業をしており、トマムリゾートのフォーレスタ・モールで営業しています。

工事請負契約の締結

●平成27年度上トマム地区

ポンプ場築造工事

金額 7128万円

契約先 橋本川島・川端経常建設共同企業体

●占冠村簡易水道配水管

布設工事

金額 6588万円

契約先 後田設備工材株式会社

質疑

問 この工事の内容は。(山本議員)

岩谷産業建設課長

高速道路占冠パーキングエリアへ給水するため工事延長は2077mです。

民事調停の申立て

平成20年に締結された合意書に基づき、相手方に村有リゾート施設(土地・建物等)を買い取ることの調停を申し立てるものです。

申立人 占冠村長 中村 博
相手方 (株)星野リゾート・トマム

代表取締役 星野佳路

質疑

問 村が求めている情報開示の内容は。(木村議員)

中村村長 星野リゾート・トマムの決算が分かる資料と開発計画等です。

平成27年度補正予算

質疑

【一般会計】

問 簡易製材機の購入目的と維持管理について。(木村議員)
田畑林業振興室長 薪だけではなく製材も供給できるようにするために、購入後は無償貸与を考えています。

問 村営住宅耐力度調査委託の内容は。(木村議員)

岩谷課長 村営住宅長寿命化計画に伴い、耐用年数を経過したものに對して耐力度調査を実施してから改修を進めるための委託業務です。

問 イタヤカエデ資源調査及び樹液採取事業の内容は。(山本議員)

田畑室長 イタヤカエデから採取した樹液をメープルシロップとしてブランド化をするため、教育委員会から引き継ぎ、今後3年間事業を継続し雇用の創出にも取り組めます。

【特別会計】

問 介護保険特別会計でライセンス使用の内容は。(木村議員)

小尾課長 介護保険システムの介護給付費における単位数表を取り込むための使用許可費です。

平成27年度 補正予算

～ 第3回定例会 ～

一般会計(第1号) 2220万円増
総額24億7100万円⇒24億9320万円
・簡易製材機購入費の増など

国民健康保険(第1号) 380万円増
総額1億4690万円⇒1億5070万円
・一般管理費の増など

村立診療所(第1号) 330万円増
総額9000万円⇒9330万円
・一般管理費の増など

公共下水道(第1号) 150万円増
総額1億1280万円⇒1億1430万円
・下水道計画認可変更委託業務の増など

介護保険(第1号) 10万円増
総額1億1110万円⇒1億1120万円
・負担金の増など

トマム地区活性化 推進協議会の開催

村長の行政報告

①第4回トマム地区

活性化推進協議会

3月25日にトマムコミュニティセンターにおいて、住民代表、星野リゾート・トマム、占冠村で構成するトマム地区活性化推進協議会が開催され、今後の集落対策方針が決定されました。

本対策の推進管理期間は、村総合計画の終了年度の平成30年度までとし、それ以降は、新たな総合計画の内容やトマム地区の状況を踏まえて進めていくものです。

本年度の早期に取り組み事業として住民、行政ともに買い物支援を決定しており、地域カフェ運営の中で検討をしていたべくよう進めていきます。

②平成26年度

占冠村猟区事業

平成26年11月1日から平成27年3月31日の151日間開猟して、8人の狩猟者がのべ13日間入猟しました。

内訳は道内3人、道外5人で、捕獲頭数は、オス4頭、メス6

頭の合計10頭でした。

捕獲上限数26頭に対し38%であり、満足のいくものではありませんが、事故や不測のアクシデントもなく概ね好評を得ることができました。

今後も持続的に満足度の高い狩猟ができるように猟区の運営に努力していきます。

③プライムロードひがし北・海・道推進協議会

「プライムロードひがし北・海・道」推進協議会が5月15日に設立されました。

本協議会は、道東・道北圏の潜在力を生かし、「広域観光周遊ルート形成計画」に係る事業に取り組み、本道の国際観光ブランドを高めることにより、来道外国人旅行者の滞在型観光を促進し、地域活性化に資することを目的としています。

トマムが広域観光拠点地区に位置付けられていることから、地域高規格道路旭川十勝道路の富良野市から占冠村間について、早期の調査区間指定に向けて強く要請していきます。

④占冠村物産館

1階の店主より5月30日で廃業する意向を告げられました。

物産館は引き続き開館し、2階は今までどおり使用しますが、1階は来訪者がくつろげるような利用を今後検討していきます。

⑤株式会社占冠山村 産業振興公社

6月1日に(株)占冠山村産業振興公社 三浦社長が来庁され、山菜加工場の運営体制等について説明がありました。

懸案であった工場長・工場長代理を配置し、今年度はフキ170tから180tの原料を確保する予定です。なめ

こは自社の山で生産し、平成27年度から平成28年度では100kgから200kgの缶詰製造を行い、平成28年度は1tくらいになる予定です。社有地でブルーベリー、ラズベリー、シーベリー、ぶどうといった小果樹類を植栽して果樹観光も進めていきます。

⑥第1回山菜料理 コンクール

6月6日に第1回山菜料理コンクールを開

催しました。募集内容は、山菜を使ったオリジナル料理レシピで、道内42人、51件、道外13人、24件の計55人、75件の応募がありました。

審査の結果最優秀賞は三笠高校3年生の万寿理真さんで、「和風山菜リゾット」もうすぐ春です。のレシピは、星野リゾート・トマム内のレストランメニューとして期間限定で提供されることが発表されました。



多くの応募があった山菜料理コンクール

がん対策の推進を



木村一俊議員

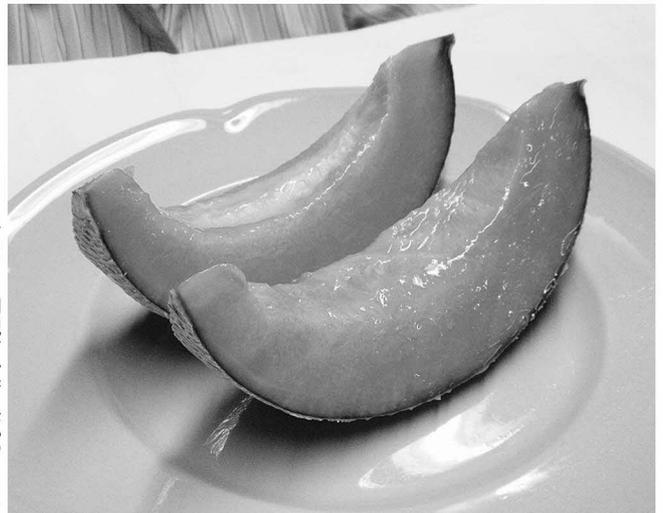
1 外国人への対応と対策

問 住民登録している外国人の方々の人数の推移と国籍の分布についておたずねいたします。

中村村長 5月末では76人、6・35%の割合です。プラスマインス25人程度の変動があります。国籍はネパール・台湾・韓国・中国・アメリカ・インドネシア・ベトナムです。

問 行政窓口での対策や職員の対応・研修に対する考えについて、また行政区への指導についてお伺いします。

中村村長 行政手続きやコミュニケーションに不便はないと認識しています。行政情報は外国語での周知はしていません。また特別な相談窓口も設けていませんが、各行政区でもこれまで特に要望を受けていない状況です。行政の届出等は、日本語でしかありませんが、各言語での様式は可能と考えています。改善に向けて取り組みたいと考えています。



ふるさと納税、一番人気のメロン

2 ふるさと納税の拡大と肉牛振興

問 村の財政を考えると村民税は平成21年度の1億円からずっと減少を続けています。人口が増え、仕事で稼がなければ、活気が出ません。村の財政状況について認識をおたずねします。

中村村長 税は貴重な財源であり、その確保は村の大きな課題であります。

問 ふるさと納税では、昨年、上士幌町は9億8千万円、夕張市は9100万円の寄附があつ

たと報道されています。利用する返礼品として、占冠和牛の復活振興に期待します。ふるさと納税は自主財源の増加・

村のPR・占冠和牛の復活とまさに三方良しの政策と考えます。村長の考えを伺います。

中村村長 村内の肉牛農家は繁殖経営を主としています。肥育経営への転換は難しいと考えています。

3 めん羊飼育の状況

問 めん羊牧場をめざす方がおり、期待するところですが、めん羊については先ごろ他町の無許可埋却について厳しい報道がありました。現在村で飼育されているめん羊の総数と死んだめん羊の対応を伺います。

中村村長 村内では18頭のめん羊が飼育されています。また死亡家畜等は、新得町の死亡獣畜取扱場で処理しています。

問 めん羊を資源として有効利

用するために化製場や死亡獣畜取扱場の設置・整備が必要になると思いますが、考えを伺います。

中村村長 現在は施設を建設する考えはありません。

4 村のがん対策

問 がんは国民の死因の第1位で北海道のがん死亡率はひと際高く、国も北海道もがん診療連携拠点・指定病院を中心にがん対策を推進しようとしています。

これらの病院が近隣にない占冠村ではがん治療の受診に関して格差があると思います。いま「認定がん専門相談員」の養成やがん対策の体制・計画づくりが求められると思いますが、村長の考えを伺います。

中村村長 定期的ながん検診を受けることで早期発見・治療が可能と考えています。受診率向上を図り、生活習慣の改善・啓発を行っていきます。

また保健師が窓口になって相談業務に当たりたいと考えています。相談員の育成については勉強させていただきます。

林業振興対策の 充実を



五十嵐正雄議員

1 来年度の医者確保

問 現診療所所長は今年度で任期満了となります。医者の確保について取組みを伺います。

中村村長 一定程度、定着が可能な医師の確保に向けて鋭意努力しています。

問 住民の声を反映して、どのような基準で医師を選考していくのか伺います。

中村村長 1点目は村に居住していただけのこと、2点目は24時間対応していただけのこと、3点目は訪問診療をしていただけること、4点目は訪問看護等と連携が図られること、こ

れらを基準に医師の確保を目指します。

問 住民・患者に依拠した医療活動、村の保健師や「とまぐさ」職員、診療所スタッフ等と連携した医療・訪問診療を進め、住民との信頼関係を保てる医師の確保が大切と思いますが考えを伺います。

中村村長 現状を考えると医師と患者の信頼関係やコミュニケーションを保てる医師が適任と考えます。

2 農業後継者対策の充実を

問 村内には就農経験のない後継者が出てきております。この方々に対して、独自の支援策が必要と思いますが村長の考えを伺います。

中村村長 新規就農者等の対策策定時に想定していなかった事案も出てきており、現行制度の内容を整理検討して後継者対策を行ってまいります。

3 林業振興対策の充実を

問 林業振興室を設置して、森林・林業・林産業の振興を積極的に進めて、徐々に成果を上げ

てきました。林業は成果が上がるまでに長い期間がかかります。

村の現状を考えると現行体制を継続していく必要があると考えますが村長の考えを伺います。

中村村長 現在は森林現況調査、保残木調査を行っています。これまでの体制では実現できなかった村有林管理がされています。事業体への施業方法の指導も行っており、村内事業体育成に大きな成果があります。今後人材確保、育成に努めるとともに現行体制を継続してまいります。

問 村内には林業事業体が3社ありますが、1社は森林組合に関わる事業に参加しておりません。村が進める森林・林業・林産業の振興を図っていくためには、事業体3社の力が大切と考えますが村長の考えを伺います。

中村村長 数少ない村内の事業体であり、再度関係者からご意見をいただく場を設け、連携・協力していくよう村として取り組んでまいります。

住民との信頼関係が求められる医療体制の整備



子育てファミリー サポートの設置は



大谷元江議員

1 子育て支援

問 占冠村では、子育てファミリーサポートを設置する考えがありますか。

中村村長 子育てファミリーサポートについては、現在のところ村としては設置する考えは持っていません。ただ、今後村としても子育てファミリーにどういった支援策ができるか、何ができるか考えていきます。

問 子育て中の家庭に、成長に応じたチャイルドシートの貸し出しをする考えがありますか。

中村村長 チャイルドシートの貸し出しですが、時代の進歩とともに保護者のニーズの変化、商品の種類、機能の高度化等により、自ら購入を希望する家庭が増加してきました。村としては現時点では貸し出しを行う考えは持っていません。

問 子育て中の家庭に関わらず、祖父母の家庭にも必要とされる部分もあります。貸出ができれば利便性があると思うので伺います。

中村村長 どれくらいのニーズがあるか調べたいと思います。

2 占冠地域交流館の 修理・改修

問 特に女子トイレが冬期間、凍結がひどく使用ができません。このことについて伺います。

中村村長 大きな改修工事を行いますませんが、今年の冬期間までに対応するよう取り進めていきます。

問 調理場の排水も、水があふれてくる状況です。この改修について伺います。

中村村長 調理場排水の構造的な問題がありますが、排水構造の変更など改修工事を行い対応していきます。

3 双珠別川の土砂除去

問 上双珠別川の土砂の堆積が見られ、川全体が浅くなっております。大雨等による災害が心配です。土砂の除去を実施する考えはありますか。

中村村長 双珠別川は一級河川で、河川管理は旭川建設管理部富良野出張所になります。現状の状況を確認し、土砂除去の要望をしていきます。



冬期対策が求められる占冠地域交流館のトイレ

議会は、どなたでも気軽に傍聴する事が出来ます。

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



今後の
予定

9月定例会→9月14日(月)・15日(火)

※いずれも午前10:00~

※議事内容等により、日程が変更する場合がございます。

トمام地区の振興を



工藤國忠議員

1 トمام地区の集落対策

問 住民アンケートを見ますと、住民が一番不安を持っているのは、食料品や日用品の購入についてです。どのような対策を考えていますか。

中村村長 トمام町内会と協力して、地域カフェを拠点とした支援について、現在、地域おこし協力隊も交えて協議しています。方向性がまとまりましたら、商工会や村内商店などと連携しながら対策を考えていきます。

問 「住み続けたくても住宅がない」「家を建てたくても土地がない」との声が聞かれます。村は土地のあっせんを行い、宅地の造成販売など取り進めてはと思いますか、村長の考えを伺います。

中村村長 トمام地区では、一般の不動産売買に適する用地を村が保有していない状況です。民有地の購入は、何人かの地権者と協議を行いました。が、難しい状況ですので、当面は2月に創設した占冠村空き家バンクの活用を進めていきます。

2 トمام地区旧商店跡地利用の取組み

問 建物は村が購入して町内会が運営することですが、トイレについても水洗化が必要と思いますが、今日までの取組みの状況を伺います。

中村村長 トمام町内会に建物管理・運営に関する専門部会を設置され、6月24日のオープンを目指して活動しています。内装修繕・トイレの位置などの検討を行い、必要なものは村が支援を行いたいと考えています。

問 教育委員会より陶芸サークルの要望に応えて活動に一部を使わせてほしい旨、申入れされていると思えます。早急な取組みが求められますが、考えを伺います。

中村村長 トمام地区の陶芸活動につきましては、文化祭でも数多くの作品が出品されています。現在、公民館、町内会が協力して活動の開始に向けて連携していますし、村としても活動に対する支援を行います。

3 地方創生計画策定

問 地方創生計画策定について、基本的な考え方を伺います。

中村村長 村の総合計画、集落対策方針、富良野地区定住自立圏共生ビジョンなどを踏まえて策定していく予定です。

問 幅広く関係者の意見が反映されるのが重要と示されていることから、占冠村総合戦略検討委員会を設置し取組みを進めたいと思えます。

問 何を柱に当計画を考えているのか具体的な方針を伺います。

中村村長 今後平成27年から平成31年の5カ年の目標や政策の方向性、具体的な施策をまとめるものとされています。占冠村総合計画の重点策と集落対策方針で示す方向性を基本とし、村の人口減少対策を考え、仕事、雇用の創出が基本になると考えています。

問 計画づくりの手順と完成時期を伺います。

中村村長 現在、一般社団法人北海道総合調査研究会へ委託し、7月に結婚等意識調査と学

生意識調査を予定しています。それらの二ーズを踏まえ、計画策定を進めます。完成時期は地方人口ビジョン、総合戦略ともに平成28年3月を予定しています。

4 自主財源確保

問 広く全国発信をして、多くの方々からの納税をお願いし、積極的な自主財源の確保に取り組まれるべきと思いますが、村長の考えを伺います。

中村村長 現在は鹿肉、メロン、野菜、木工品などの特産品に加え、商工会の商品券などの9品目に増やしました。しかし商品券は星野リゾート・トمامの宿泊には利用できないので、今後とも定期的に協議していきます。

昨年度は214件261万円の寄附、今年度は6月15日現在163件195万円の申し込み状況となっています。

今後も新たな特典づくりやふるさと納税サイトの広告掲載、また札幌・関東圏でのPRも検討しながら進めたいと考えています。

黒毛和種経営安定化 事業の継続を



長谷川 聡 議員

1 農業振興

問 黒毛和種経営安定化事業は経営安定に成果が期待できますので、あと5年間継続してはいかがでしょうか。

中村村長 増頭・優良牛確保を図られるべく、意見を伺い次年度以降の施策を検討いたします。

問 新規就農対策の状況を伺います。

中村村長 肉牛経営を目指し1人が実習中であり、また本年4月より畑作経営をめざし、1人が体験実習中です。

問 肉牛経営の場合、どこへ、どのような形で入植させるのですか。

中村村長 トマムの村有地を考えています。関係機関や新規就農協議会の意見を伺い取り進めます。

2 トマムリゾート 村有施設の売却

問 トマムの村有施設は平成24年9月30日までに株星野リゾートが買う合意書に基づく履行がなされていません。損害賠償を

求める考えはありますか。

中村村長 何をもって損害と
いうのか、議論の分かれるところではないかと考えています。

問 約2年半も対応できなかった理由とその責任はどのように考えますか。

中村村長 契約は延びていますが、相手とは良好な関係を保つべきと考えて、信頼関係を構築してきております。フォーレストモール取壊し後の温浴施設オープンに向けての事務処理に期間を要しました。

問 財務関係書類の提示を最近になって求めています。より早い対応が必要ではなかったのではないですか。

中村村長 平成25年12月3日に資料の提示を要求し、決算のデータの一部が来ました。また説明に足りないということ、こちら側の要求している資料を待っている状況です。

問 履行を平成29年まで延長した合意書で再契約を進めようとしています。その場合、前の合意での不履行により生じる遅延損害賠償の請求はできず、村は不利益を受けないのでは

すか。

中村村長 契約の変更を進めていますが、経営の推移・内容の説明を示す資料の提示が果たされていません。民事調停の申立ても考えています。

問 民事調停に基づいて、この問題は解決するという理解でいいですか。

中村村長 民事調停は最後の手段です。

問 星野社長からの回答書では平成32年までの延長が求められましたが、どのように考えますか。

中村村長 議会と相談して決めていきます。



村有施設の売却がすすめられる
トマムリゾート

問 賃料の変更は考えないので
すか。

中村村長 星野リゾートとは良好な関係を保ちたいので、賃料変更は考えていません。

問 民事調停が合意しない場合の対応はどのように考えていますか。

中村村長 ふたを開けてみるとわからないと思つています。

3 トマム地域カフェの その後

問 村はどのように関与しているのですか。

中村村長 当初予算で補助金等を見えています。さらに町内会の方に検討いただき、賄えない部分を村で支援したいと考えています。

問 平成26年における70万円の助成についての事業報告を伺います。

中村村長 実績報告を審査し、29万円4991円の補助金確定と40万5009円の返還で処理しました。



山本敬介議員

外国人への窓口対応は

1 トマム地区の定住対策

問 トマムリゾートの集客は好調ですが、同時にアルバイトの寮確保のため、社員が寮の退去を求められています。現状の認識を伺います。

中村村長 5月26日の定期協議でも、従業員の定住対策について意見交換をし、職員の定住を要請しています。トマム地区の住宅問題は大きな課題と考えています。

問 現代日本におけるコンビニエンスストアは、社会における「インフラ」となりつつあります。公共料金の収受、各種支払、住民票発行、防災時の協定など公共性が非常に強くなっていますが、村長の認識を伺います。

中村村長 コンビニは社会における大きな「インフラ」の一つという認識を持っています。

問 トマム住民による地域カフェは重要ですが、町内会がこの「インフラ」を担うのは難しいと思います。リゾートや高速インターの利用客も含め、コンビニ導入の調査、コンサルティングをすべきではないでしょうか。



か。

中村村長 村もトマム地区にコンビニは必要だという認識は同じです。今後はリゾートの力も借りながら出店要請を進めて行く考えですので、調査事業を行う考えはありません。

問 新しい住民にトマムに定住していただくには「インフラ」としてのコンビニがないと難しい。これは政治判断として村長

外国人対応が求められる窓口業務や議会で考えていくべき事項ではないでしょうか。伺います。

中村村長 北海道で3本の指に入るリゾート地に店や、石油スタンドがないのは異常な状態と思っており、解消して行かなければならないと考えています。

問 一般廃棄物埋立場は平成34

2 「くるくるショップ」導入は

導入は

年にはいっぱいになるという状態です。廃棄物の量を減らすためにも、まだ使える不要品をリユースする「くるくるショップ」を導入できないでしょうか。

3 外国人住民への対応は

問 リゾート勤務の外国人も年々増加傾向にあり、外国人住民対応窓口の必要性が高まっていると感じていますが、現状と、村のイングリッシュスピーカーに対する研修制度などがあるのか伺います。

中村村長 現在役場窓口には英語のできる職員を配置しておりますが特別な訓練はしていません。例えば行政の届出様式は全て日本語ですが、翻訳アプリなどを利用しながら外国人登録者には対応していきたいと考えています。

民間賃貸住宅の 落雪防止対策を



佐野一紀議員

1 畜産農家の経営安定化

問 畜産農家の経営安定化事業が今年度で終了する中で、本事業で経営安定が図られてきたと理解しています。繁殖中の育成・肥育を一貫してやられた事業が、以前あつたと聞いていますが伺います。

中村村長 近代化計画の中で、繁殖から肥育までの一貫経営を奨励した経過がありました。が、本村では肥育が定着できず、現在は繁殖経営農家のみです。村では繁殖素牛の増頭、優良牛を確保する方向で肉牛振興を図っています。

問 繁殖牛の雌牛が減る中、自ら育成し、優良となる牛を生産する、そして素牛として出荷することも必要だと思います。より良い飼料、環境の中で育てなければならぬこともあり、一定程度の助成についての考えを伺います。

中村村長 現在の黒毛和種繁殖経営安定化事業を、そのまま移行し続けてほしいという要望があります。これまで増頭・老齢牛の更新を行ってきたので、今後は良い牛を残し、次の世代

にその牛を使っていくかも選択肢の一つとして考えております。

今の事業のほかにもどのような事業ができるのか、たとえば、優秀な精液を農家に提供するなど、複数検討し、農協も含め農家と制度を作っていききたいと思っています。

2 民間賃貸住宅の落雪防止

問 宮下地区に建設された賃貸住宅では、屋根からせり出した雪庇等が村道側に一気に落ちています。

村道では地域住民や車両が通りますし、落ちた雪庇が舗装で砕けて、飛散した水が個人住宅まで飛んだという事象もありました。

安全に配慮した落雪防止策の要望について伺います。

中村村長 道路までの境界が4m40cmあり、当初想定しておりませんでした。所有者と対応を協議し、雪止め金具を付けたいと考えています。

3 透析患者の移送サービス

問 バスの運行時間を改正して対応してきたが、院内処置の関

係で2便に乗れない状況が出ています。透析処置後、患者の体調回復には相当な時間を要し、体への負担を考えると移送サービスが適しているのではないかと考えますが、伺います。

中村村長 定期受診日が他の科と重なるケースもあり、家族が送迎で対応しています。

2便での帰村が困難になる方のために、占冠在宅福祉推進事業条例に規定する、移送サービス制度の活用に向け、すでに事業者と調整中です。当該患者の通院支援、身体的負担の軽減を図っていききたいと考えています。



落雪対策が求められる民間賃貸住宅



意見書を提出

村民の声を
国政の場に

○ 2015年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

北海道労働局及び最低賃金審議会は、「雇用戦略対話」に基づき最低賃金800円を早期に確保し、2020年までに全国平均1000円に到達できるよう大幅に引き上げること。また、中小企業に対する支援の充実と安定経営を可能とする実効ある対策を国に要請すること。

○ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

○ 道教委『新たな高校教育に関する指針』の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

○ 地方財政の充実・強化を求める意見書

○ 憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回と関連法「改正」反対を求める意見書

民主主義を揺るがす憲法解釈変更による集団的自衛権行使の閣議決定の撤回を求めるとともに、歴代内閣の閣議決定を堅持し、「閣議決定」を根拠とした関連法の「改正」を行わないよう強く求める。

○ 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

議会の主なるごき

(平成27年5月議会臨時会終了後から平成27年6月議会定例会まで)

- 5月 8日 議員協議会（全議員）・・・議会広報特別委員会委員の選出他 6 件
- 8日 全員協議会（全議員）・・・村有リゾート施設について
- 18日 富良野沿線市町村議会議長会総会（南富良野町：議長）
- 20日 上川町村議会議長会臨時総会（旭川市：議長）
- 22日 全員協議会（全議員）・・・村有リゾート施設について
- 6月 4日 総務産業常任委員会（各委員）・・・第3回議会定例会議案説明
- 11日 議会運営委員会（各委員）・・・第3回議会定例会について
- 15日 上川地方総合開発期成会定期総会及び専門部会（旭川市：議長）
- 17日 北海道町村議会議長会定期総会及び研修会（札幌市：議長）

編集 後記

各地からいろいろな「お花」の開花が伝えられています。車の往来も、道の駅も賑わいを見せています。今年はいつになく寒冷前線が張り、いまだ朝晩はストーブのお世話になっています。異常気象なのでしょう。桜はあんなに早く咲いたのに、夏はまだまだのようです。

さて、6月定例会も終了して、新しい体制の広報特別委員会が編成されました。みなさまにわかりやすい広報を提供できますように努めたいと思います。みなさまの忌憚のないご意見をいただければ幸いです。よろしく
お願いいたします。

(木村)

▼議会広報特別委員会（後期）

委員長	木村 一俊
副委員長	長谷川 耿聰
委員	大谷 元江
委員	藤 國忠

〈〈議会広報や議事録全文は村ホームページでご覧になれます。〉〉

発行：占冠村議会 責任者：相川 繁治 編集：議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184 URL <http://www.vill.shimukappu.lg.jp>